



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月2日

上場会社名 株式会社エフ・ジェー・ネクスト
 コード番号 8935 URL https://www.fjnext.com

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 肥田 幸春
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画室長 兼 業務部長 (氏名) 山本 辰美 TEL 03-6733-7711
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	42,729	△6.3	3,581	△41.1	3,575	△42.0	2,323	△41.1
29年3月期第3四半期	45,608	38.1	6,084	75.4	6,168	77.4	3,947	76.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,327百万円 (△41.1%) 29年3月期第3四半期 3,950百万円 (77.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	70.40	—
29年3月期第3四半期	117.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	59,523	36,983	62.1	1,131.50
29年3月期	58,631	35,804	61.1	1,080.48

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 36,983百万円 29年3月期 35,804百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	8.00	—	12.00	20.00
30年3月期	—	10.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成29年3月期期末配当金の内訳 普通配当10円00銭 特別配当2円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,000	4.2	6,000	△25.1	6,000	△26.0	3,900	△28.8	118.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

平成29年8月～12月に実施した自己株式の取得に伴い、期中平均株式数を見直し、1株当たり当期純利益予想を変更しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	34,646,500株	29年3月期	34,646,500株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,961,157株	29年3月期	1,508,357株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	33,008,644株	29年3月期3Q	33,733,949株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による各種政策効果を背景に、輸出や設備投資が増加し、雇用・所得環境も改善が続くなど、緩やかな景気回復基調で推移いたしました。

不動産業界におきましては、平成29年（1月～12月）の首都圏におけるマンションの新規供給戸数は前年同期比0.4%増の3万5,898戸に留まり、また、需要面につきましても、物件価格上昇等の影響により、年間平均契約率は好調の目安と言われる70%を下回るなど、依然として調整局面が続いております（数字は株式会社不動産経済研究所調べ）。

当社グループの主要事業領域である資産運用型分譲マンション市場におきましては、単身者を中心とした首都圏の賃貸需要は底堅く、購入需要についても、安定した収益が期待できる運用商品として認知度が高まり、低金利にも後押しされ、堅調な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは、首都圏において、資産運用としての多彩なメリットを提供する「ガーラマンションシリーズ」及びファミリーマンションの自社ブランド「ガーラ・レジデンスシリーズ」の開発・販売の拡大、顧客サポート体制の充実、ブランド力の強化を図ってまいりました。また、中古マンション売買の拡充にも積極的に取り組み、グループ企業価値の向上に全力を尽くしてまいりました。

こうした結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高427億29百万円（前年同四半期比6.3%減）、営業利益35億81百万円（前年同四半期比41.1%減）、経常利益35億75百万円（前年同四半期比42.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益23億23百万円（前年同四半期比41.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（不動産開発事業）

不動産開発事業におきましては、自社ブランド「ガーラマンションシリーズ」、「ガーラ・レジデンスシリーズ」を積極的に営業展開するとともに、中古マンション999戸を販売した結果、ワンルームマンション売上高313億46百万円（1,443戸）、ファミリーマンション売上高12億93百万円（33戸）、その他収入46億50百万円となり、不動産開発事業の合計売上高372億90百万円（前年同四半期比6.9%減）、セグメント利益26億41百万円（前年同四半期比48.1%減）となりました。

（不動産管理事業）

不動産管理事業は、管理物件の増加等により、売上高16億92百万円（前年同四半期比6.8%増）、セグメント利益5億96百万円（前年同四半期比6.3%増）となりました。

（建設事業）

建設事業は、外部受注は順調に推移したものの、前年同四半期にマンション卸販売を計上した反動減により、売上高31億42百万円（前年同四半期比6.2%減）、セグメント利益3億9百万円（前年同四半期比20.5%減）となりました。

（旅館事業）

旅館事業については、宿泊単価が想定を下回り、売上高6億4百万円（前年同四半期比1.1%増）、セグメント利益18百万円（前年同四半期比27.9%減）となりました。

なお、当社グループの主力事業である不動産開発事業におけるマンション販売は、顧客への物件引渡しをもって売上が計上されます。そのため、物件の竣工や引渡しのタイミングにより四半期ごとの業績に偏重が生じる傾向があります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は567億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億70百万円増加いたしました。これは主に、仕掛販売用不動産が89億66百万円増加した一方、現金及び預金が51億99百万円、販売用不動産が32億67百万円減少したことによるものであります。固定資産は27億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円増加いたしました。

この結果、総資産は595億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億91百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は76億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億7百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が16億13百万円、短期借入金が5億円、支払手形及び買掛金が3億17百万円減少したことによるものであります。固定負債は148億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億20百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が20億10百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は225億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億87百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は369億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億78百万円増加いたしました。主な増加は親会社株主に帰属する四半期純利益23億23百万円であり、減少は剰余金の配当7億27百万円、自己株式の取得4億22百万円であります。

この結果、自己資本比率は62.1%（前連結会計年度末は61.1%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月9日発表の予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,324	10,124
受取手形及び営業未収入金	3,344	3,264
有価証券	82	-
販売用不動産	15,615	12,347
仕掛販売用不動産	20,474	29,440
未成工事支出金	36	172
原材料及び貯蔵品	28	27
前渡金	141	156
繰延税金資産	325	261
その他	487	935
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	55,859	56,729
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,398	1,398
減価償却累計額	△739	△797
建物及び構築物 (純額)	658	600
土地	594	594
その他	285	284
減価償却累計額	△220	△235
その他 (純額)	64	48
有形固定資産合計	1,316	1,243
無形固定資産	49	47
投資その他の資産		
投資有価証券	245	255
繰延税金資産	199	222
その他	971	1,035
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	1,406	1,502
固定資産合計	2,772	2,793
資産合計	58,631	59,523

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,274	956
短期借入金	500	-
1年内返済予定の長期借入金	3,000	2,850
未払金	449	388
未払法人税等	1,694	81
未払消費税等	484	227
預り金	1,660	1,788
賞与引当金	224	287
その他	682	1,083
流動負債合計	9,970	7,662
固定負債		
長期借入金	10,040	12,050
役員退職慰労引当金	753	778
退職給付に係る負債	405	442
長期預り敷金保証金	1,577	1,532
長期預り金	72	71
その他	6	1
固定負債合計	12,856	14,876
負債合計	22,826	22,539
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,774	2,774
資本剰余金	3,054	3,054
利益剰余金	30,749	32,346
自己株式	△789	△1,211
株主資本合計	35,789	36,964
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15	19
その他の包括利益累計額合計	15	19
純資産合計	35,804	36,983
負債純資産合計	58,631	59,523

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	45,608	42,729
売上原価	33,659	32,662
売上総利益	11,949	10,067
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	607	911
給料手当及び賞与	2,060	2,123
賞与引当金繰入額	249	285
退職給付費用	41	44
役員退職慰労引当金繰入額	34	34
その他	2,872	3,085
販売費及び一般管理費合計	5,864	6,485
営業利益	6,084	3,581
営業外収益		
受取利息	1	0
違約金収入	105	20
その他	20	11
営業外収益合計	127	32
営業外費用		
支払利息	40	35
その他	2	3
営業外費用合計	43	38
経常利益	6,168	3,575
税金等調整前四半期純利益	6,168	3,575
法人税、住民税及び事業税	2,158	1,211
法人税等調整額	63	40
法人税等合計	2,221	1,251
四半期純利益	3,947	2,323
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,947	2,323

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	3,947	2,323
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	4
その他の包括利益合計	3	4
四半期包括利益	3,950	2,327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,950	2,327
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 開発事業	不動産 管理事業	建設事業	旅館事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	40,075	1,584	3,350	597	45,608	-	45,608
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	310	26	9	349	△349	-
計	40,077	1,895	3,377	607	45,958	△349	45,608
セグメント利益	5,087	561	388	25	6,062	21	6,084

(注) 1. セグメント利益の調整額21百万円には、セグメント間取引消去16百万円、
たな卸資産及び固定資産の調整額4百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 開発事業	不動産 管理事業	建設事業	旅館事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	37,290	1,692	3,142	604	42,729	-	42,729
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	300	22	9	337	△337	-
計	37,295	1,993	3,164	614	43,067	△337	42,729
セグメント利益	2,641	596	309	18	3,565	16	3,581

(注) 1. セグメント利益の調整額16百万円には、セグメント間取引消去19百万円、
たな卸資産及び固定資産の調整額△2百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。